

X. 下水道資源の有効利用

1. 事業概要

湖西浄化センターでは、脱水汚泥を原料として燃料化物を製造することで、下水汚泥の資源化を図ると共に、温室効果ガスの削減により地球温暖化防止に貢献しています。

本事業は、大津市公共下水道で発生する汚泥を共同処理する「琵琶湖流域下水汚泥処理事業」として行われています。

事業箇所：滋賀県大津市苗鹿三丁目1-1

事業期間：＜設計及び施工＞

平成25年3月25日から平成28年3月22日まで

＜維持管理運転＞

平成28年1月1日から令和18年3月31日まで

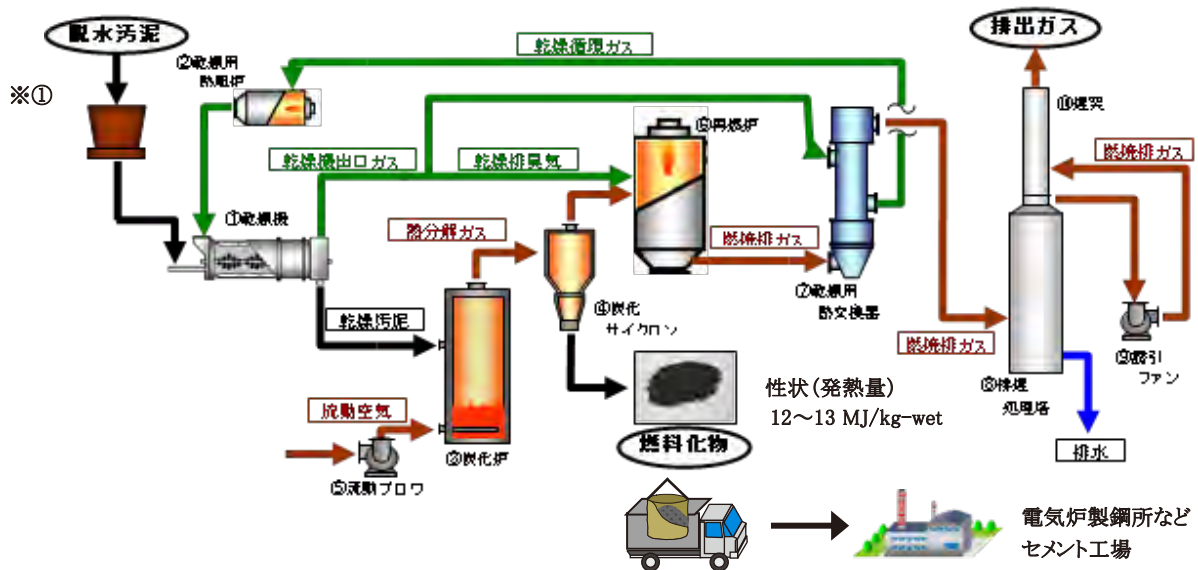
発注方式：設計・施工・維持管理一括契約（DBO）方式

公称能力：80 t / 日

燃料化物製造量：1,497 t / 年 (R1年度)



2. システムフロー（流動床式炭化システム）



※①脱水汚泥は湖西浄化センター発生分と高島浄化センター・大津市水再生センター受入れ分

3. CO₂ 排出量の削減

従来汚泥処理方式である「焼却+溶融設備」と「本施設」でのCO₂排出量を下表に示します。

項目	焼却+溶融設備 t-CO ₂ /年 A	本施設 t-CO ₂ /年 B	削減量(A-B) t-CO ₂ /年
都市ガス	3,733	546	3,187
電力	1,587	949	638
N ₂ O由来	4,596	211	4,385
合計	9,916	1,706	8,210

また、本施設にて製造する燃料化物を約8 t / 日、石炭代替燃料として利用することで、利用施設の石炭使用量の削減により、CO₂排出量を3,113 t-CO₂/年削減することが可能です。